

令和 5 年度
社会福祉法人愛光園
事業報告書

目次

1、総括	1
2、各事業所の状況	
（1）稲岡事業所	3
（2）アイタウン	6
（3）山川事業所	7
（4）大久保事業所	9
（5）あづま事業所	10
（6）松原事業所	13
（7）六郷事業所	14
（8）猿田事業所	18
（9）足利市障がい者基幹相談支援センター	20
3、部会報告	
（1）就労部会	23
（2）介護部会	24
（3）居住部会	25
（4）地域支援部会	26
4、委員会報告	
（1）人材育成委員会	27
（2）広報委員会	28
（3）サービス向上委員会	29
5、評議員会の開催状況	30
6、理事会の開催状況	30
7、外部研修等実施状況	31
8、事業別職員数	35
9、補助事業の活用状況	36

1. 総括

新型コロナウイルスの感染症が季節性インフルエンザと同じ“5類”に移行し、1年が経過しました。“2類”の頃と比べるとマスクを外した人の姿が多くみられ、かつ円安という環境もあり、インバウンド効果で本部のある富田地区などでは、もうコロナ禍前の状況に戻っているかのようです。その一方で私共福祉施設ではこれからも感染拡大への警戒を続けなければいけないという実情も続いています。

そのような中あい変わらず、エネルギー価格や電気料金の高止まり、身の回りの生活物資の値上がりが続いており、施設・事業所の運営は気を緩められない状況ではありますが、令和5年度においては当初の計画に対しおおむね順調と言える実績を残すことができたと考えております。これはこれまで法人の方針や方向性に理解・共感して支えてくれた役職員の努力の賜物であると感謝し、令和6年4月の昇給については、法人として出来る限りの謝意と誠意を盛り込みました。

今や法人は足利・佐野・館林の3市を中心に事業を展開しています。これからも現状に満足することなく利用者様および家族の方々をはじめ地域で必要とされる法人の姿を目指して、更なる活動を続けていきたいと考えております。

以下令和5年度の事業報告です。

①主な整備関係

- a. アイヴィレッジ スプリンクラー整備 71,313 千円
- b. ホームいぶきの開設 14,396 千円
- c. 足利愛光園 連洗オーバーホール及びボイラ入れ替え工事 58,578 千円

②重点項目について（令和5年度事業計画より）

- (1) 足利・佐野・館林地区における障がい福祉事業の更なる進化に努める
ホームいぶきの開設やカレンフィールドの定員増をはじめ、地域福祉のサービスの向上に努めました。
- (2) 相談支援体制の強化と充実
館林市に新たな相談支援事業所「愛光園障がい者相談支援センターひかり～輝～」を開設し、より地域に根付いた相談支援体制の拡充を行いました。
- (3) 人材育成に特化した研修、会議、委員会の進化
事業所での人材育成プログラムの拡充に加え、横断的な取り組みである部会・委員会の活動を通して、職員の育成に努めました。
- (4) 事業の可視化と公正な評価の実施
ホームページでの情報公開や見学会等の実施の他、専門家の意見を取り入れ、事業の可視化を行いました。
- (5) 職員等の資格取得支援制度活用を推進
令和5年度は9名の方がこの制度を活用し、資格取得を行いました。
(社会福祉士：3名、介護福祉士：2名、社会福祉主事：2名 他)
- (6) 災害時避難確保体制の構築
消防署立会いの下、定期的な避難訓練の実施をした他、令和6年度より義務化されるBCP計

画の策定や水害時を想定した避難訓練等を実施いたしました。

(7) コロナ禍での感染防止と生活面の安定

基本的な感染対策を徹底したほか、感染者が出た際にも速やかに隔離対応を行い、感染が拡大することがないように努めました。

(8) 職員のストレスを軽減し、虐待防止のための体制の構築

管理者やサービス管理責任者による定期面談を実施しました。また、部会ごとに職員が主体となった虐待防止研修や身体拘束の適性化に向けた研修を行い、それぞれの部門に沿った虐待防止の研修を行いました。

(9) 本部および事業所間の意思疎通と連携の強化

管理者で実施する経営会議を毎週実施しました。また、各事業所のサービス管理責任者が参加する事業所連絡会をオンラインにて月2回開催し、事業所間の情報共有と連携強化に努めました。

(10) 地域医療との連携強化

嘱託医、産業医と連携し、コロナの感染対策の他、重度化・高齢化する利用者様の支援に努めました。

③法人の運営

(1) 人材の確保及び資質の向上

求人の間口を広げ、常時求職者からの問い合わせに対応できるよう整備しました。

資質向上については部会、委員会参照

(2) 経営基盤の強化

各事業所利用者様の利用率向上に努めました。

2. 各事業所の状況

(1) 稲岡事業所

ア、就労系サービス《愛光園（就労継続支援B型）》・《共働舎（生活介護）》

a 概況

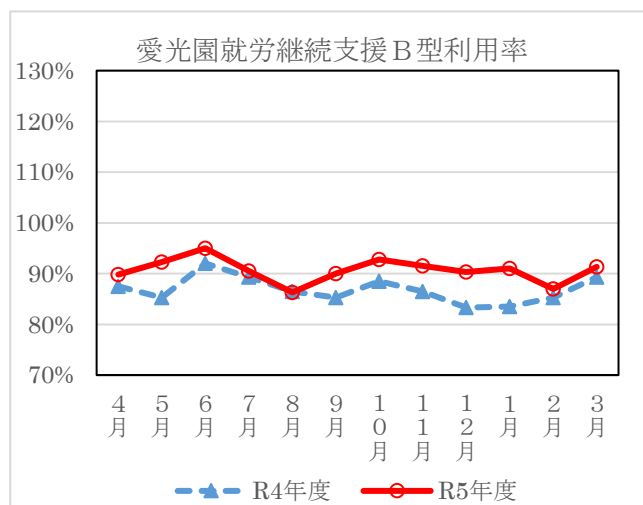
- ・クリーニング事業においては、アフターコロナにより特にホテル関係の品物が回復したことや元請け会社様より値上げの協力を頂いたこともあり、昨年度と比較し約 1000 万円の売り上げ上昇となりました。また、通年を通して安定した作業量を確保し、利用者様への就労支援を実施いたしました。
- ・エネルギー価格の高騰は継続しており、電気代・ガス代が前年度比 23%増（前々年度比 77%増）となりました。そのため、引き続き節電等の取り組みを行いました。結果、平均工賃の算定式が変更されたこともあり、令和 5 年度の平均工賃は 45,127 円となり、前年度と比べて 10,000 円近く向上することが出来ました。
- ・共働舎ではキャスターの組み立て等の内職業務等クリーニング以外の作業も開始し、多様なニーズに対して作業を提供できるよう整えました。
- ・4年ぶりに外出レクの機会を作り、いちご狩りや、大洗水族館等、4か所に分けて実施しました。

b 利用率の推移

《愛光園（就労継続支援B型）》

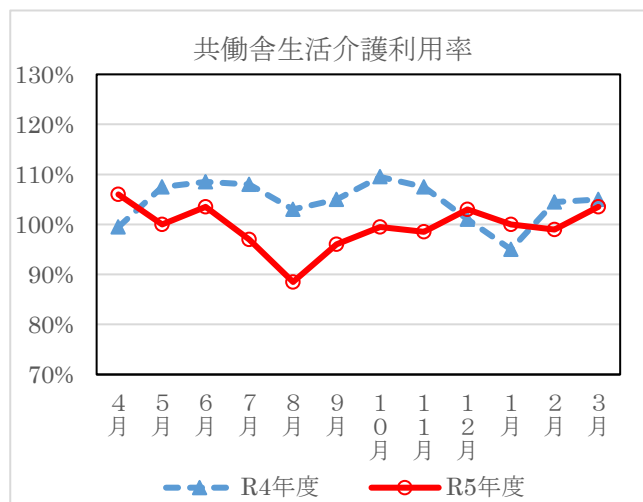
定員	40名
開所日数	311日
延べ利用者数	11,262名
平均利用者数	36.2名
平均利用率	90.5%
平均工賃	45,127円

※以下就労継続支援B型は平均工賃、生活介護は平均区分を示しております。



《共働舎（生活介護）》

定員	20名
開所日数	311日
延べ利用者数	6,174名
平均利用者数	19.9名
平均利用率	99.3%
平均区分	4.4



イ、入所・介護系サービス《陽光園・(施設入所支援・生活介護・短期入所)》

《愛光園ホーム(福祉ホーム)》

《サンリット(通所介護、介護予防通所介護)》

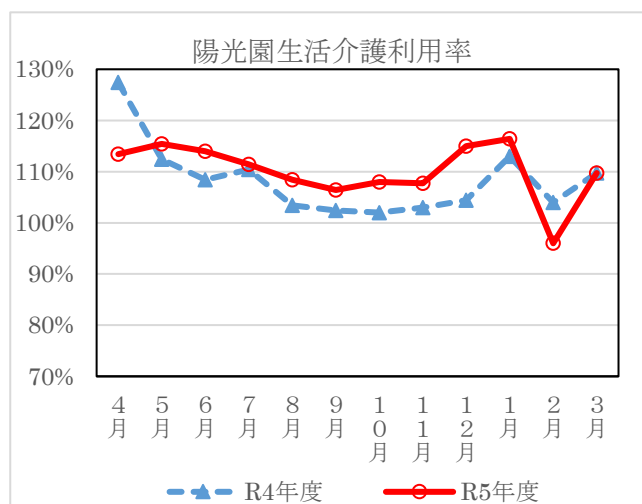
a 概況

- ・平均障害支援区分が生活介護では 5.7、施設入所においては 5.8 と、令和 4 年度に引き続き法人内で最も重度の方々が多く利用されている事業所として運営をいたしました。
- ・生活介護の日中活動として利用者様に作成していただいた共同制作作品が、2 年続けて法人内のコンクールで最優秀賞に選ばれるなど、より楽しみを持って活動に参加していただきました。
- ・施設入所、および短期入所においては居室の木戸交換を実施し、ご利用の方が快適に操作していただけるようになりました。今後の更なる重度高齢化に向けて、少しずつですが設備面での改善を始めました。
- ・サンリットにおいては週 3 日の運営を行い、少人数でアットホームな雰囲気をご利用いただいておりますが、利用される方の減少等もあり、総合的な判断により令和 5 年度をもって事業を終了いたしました。

b 利用率の推移

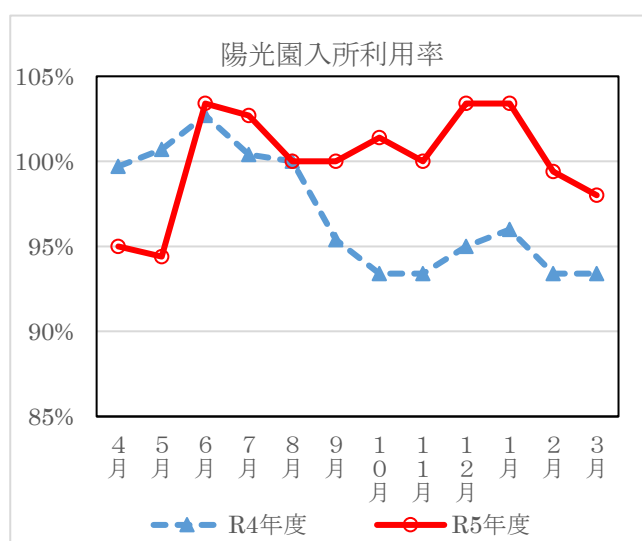
《陽光園(生活介護)》

定員	30 名
開所日数	311 日
延べ利用者数	10,262 名
平均利用者数	33.0 名
平均利用率	110.0%
平均区分	5.7



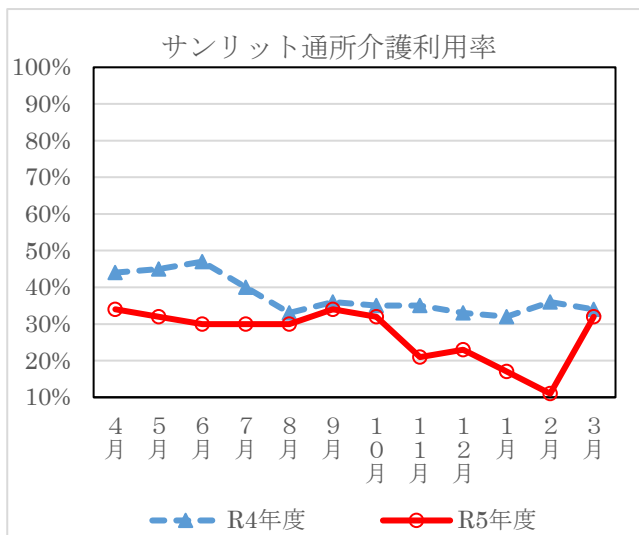
《陽光園(施設入所)》

定員	30 名
開所日数	366 日
延べ利用者数	10,980 名
平均利用者数	30.0 名
平均利用率	100.0%



《サンリット（地域密着型通所介護）》

定員	10名
開所日数	155日
延べ利用者数	415名
平均利用者数	2.7名
平均利用率	26.8%



(2) アイタウン《ホームほのか・ホームひだまり（共同生活援助）》

a 概況

- ・ホームほのか、ホームひだまり共に定員 30 名で、アイタウン合計定員数は 60 名となります。令和 5 年度中に満床となりました。
- ・充実した休みの過ごし方の提案（余暇支援）として、不定期ですが、日曜日にアイコートを開放し、カラオケや UNO などのカードゲーム、ジェンガ、wii ボーリング大会などを楽しんでいただきました。また、運動も兼ねて屋外で散策や輪投げ、シャボン玉、水鉄砲などを行いました。
- ・健康管理については、担当医、看護師と連携し、通院、服薬等必要な対応を行いました。また、口腔ケアの一環として、入居者様の歯科通院を継続して実施しました。
- ・コロナウイルス、インフルエンザに対しては、感染予防の実施や感染者の早期発見により、陽性者は出ましたが、感染拡大を防ぐことができました。
- ・レクリエーションは、季節感、利用者の満足度を大切に実施しました。

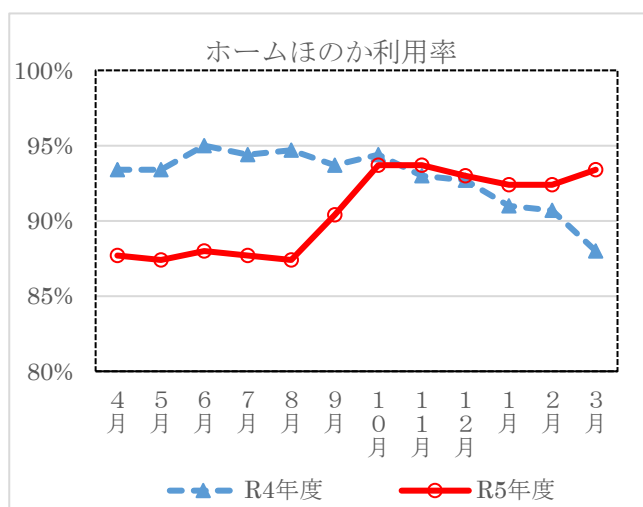
<令和 5 年度実施レクリエーション>

4 月	ピクニック、カラオケ	11 月	さつまいも掘り、運動レク
5 月	さつまいも植え、カラオケ	12 月	クリスマス会(カラオケ、ビンゴ大会)
6 月	屋台風(焼きそば、フランクなど)	1 月	初詣、書初め
7 月	かき氷、手巻き寿司	2 月	恵方巻とつみれ汁、カラオケ
8 月	花火&ポップコーン	3 月	花見(ふみきり寿司)
10 月	秋の味覚デザート、カラオケ		

b 利用率の推移

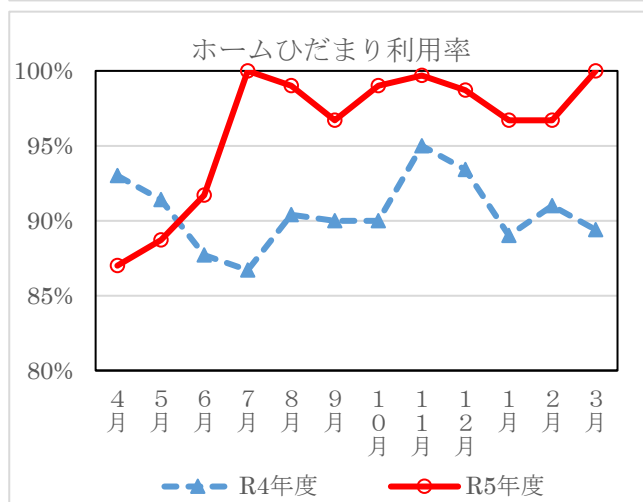
《ホームほのか（共同生活援助）》

定員	30 名
開所日数	366 日
延べ利用者数	9,924 名
平均利用者数	27.1 名
平均利用率	90.4%



《ホームひだまり（共同生活援助）》

定員	30 名
開所日数	366 日
延べ利用者数	10,545 名
平均利用者数	28.8 名
平均利用率	96.0%



(3) 山川事業所

ア、《足利愛光園（生活介護・就労継続支援B型）》

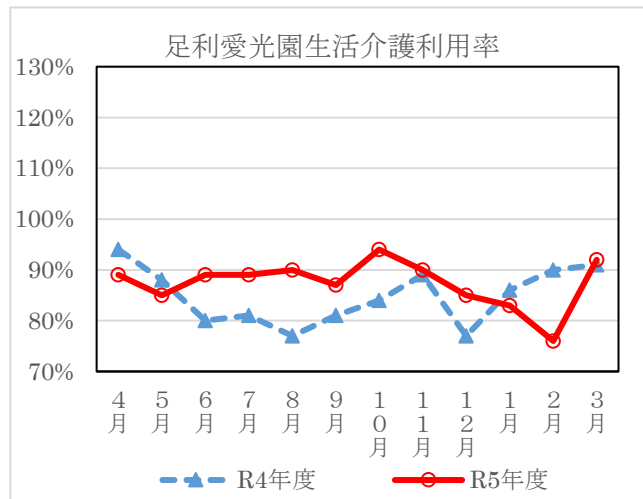
a 概況

- ・令和5年度は主要な洗濯機械（連続式洗濯機・脱水機：導入から13年経過）のオーバーホールを行いました。かなり大がかりな工事内容の為、1年を通した工事になりました。また、蒸気ボイラ・ガスエアコンの入替工事も補助金を活用して行ったことで、クリーニング事業について将来の見通しをもって事業運営を行っていくことが出来るようになりました。
- ・生産活動（クリーニング関係）については、作業量は概ね確保できました。
- ・都市ガスの価格は、激変緩和対策もあり少しずつ価格が下がり始め安定しました。経費節減の取り組みを推進しながら対応しています。
- ・就労継続支援B型の利用者様については作業特性を生かし複数の作業種目のチャレンジを行う事で、作業に対する意欲向上が見られました。また、効率よく行う事で作業評価も上がり高工賃の支給へ繋がりました。
- ・熱中症対策で、洗濯工程担当の利用者様に対してはスポーツドリンク等の提供等を行いました。また、全員に暑い時期のアイスクリームの提供を行い大変好評でした。
- ・誕生日月の利用者様に個別のプレゼントと記念写真を提供しました。
- ・コロナ感染状況を見ながらの外出レクを行いました。（群馬・茨城・秩父方面）また、一步、三桝屋總本店にも行ってきました。（食事・買物）
- ・事業所内ではクリスマスプレゼント配布や餅つき行事を行いました。
- ・コロナ、インフルエンザ等の感染症対策（マスクの着用、手指消毒の徹底、作業場の換気）を通年行う事で、感染症のクラスターを発生する事なく生産活動が行えました。

b 利用率の推移

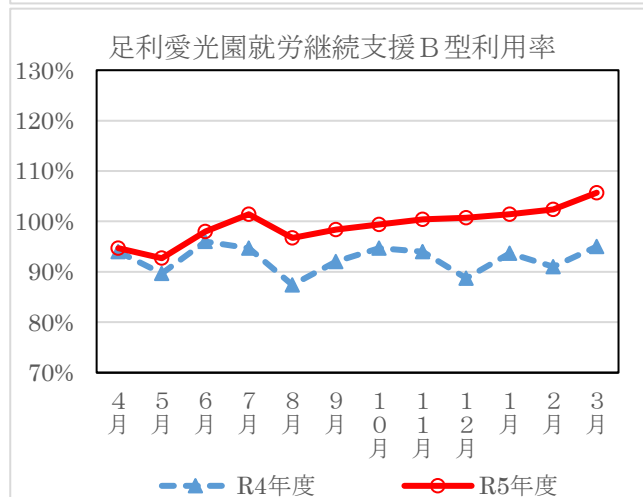
生活介護

定員	10名
開所日数	311日
延べ利用者数	2,708名
平均利用者数	8.7名
平均利用率	87.1%
平均区分	4.2



就労継続支援B型

定員	30名
開所日数	311日
延べ利用者数	9,248名
平均利用者数	29.7名
平均利用率	99.1%
平均工賃	47,438円



イ、《愛光園ホームあすか（共同生活援助）》

a 概況

- ・インフルエンザ、コロナウイルス感染等に注意しながらの生活全般の支援を行いました（マスクの着用、手指消毒、取手等の消毒、トイレ・洗面所・共同使用箇所の消毒の徹底、買い物代行等）。また、毎朝、夕の検温・健康状態の把握を行う事で、感染症等のリスク軽減に繋がりました。
- ・感染拡大時期には外出の制限を実施し、利用者様にも感染症リスクの軽減に協力いただきました。
- ・レクリエーションについては、職員の手作り食事提供や一緒に行う手芸活動などを取り組みました。

4月 スタッフ手作り；ネギトロ丼提供

5月 アップルパイ（兜型）作りにチャレンジ（休みの日に利用者と一緒に作り食事）

6月 ペットボトル風鈴作りにチャレンジ（制作活動）

8月 納涼会（手作りアイス提供【スイカ/キウイフルーツ】・冷やしきゅうり+花火）

10月 芳香剤入り石鹸作り（制作活動）

11月 チキンバターカレーをナンで食べよう。

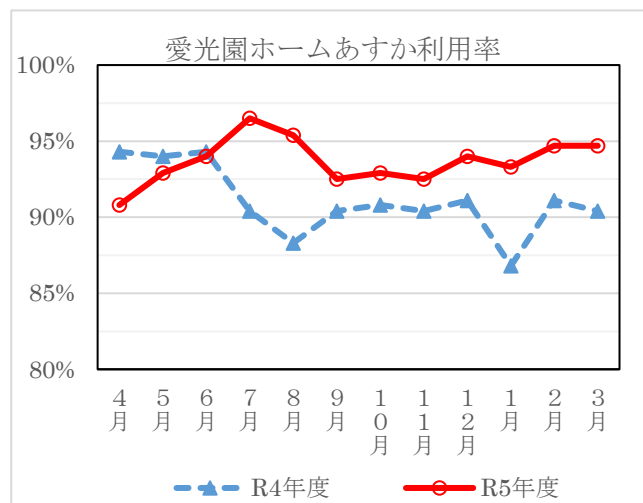
12月 クリスマス会（モスバーガーチキン&ケーキ提供）プレゼント付き

1月 鏡開き（おしるこ提供：おもちの代わりにすいとん）

2月 節分（恵方巻・から揚げ・デザートを提供）

b 利用率の推移

定員	28名
開所日数	366日
延べ利用者数	9,583名
平均利用者数	26.2名
平均利用率	93.5%



(4) 大久保事業所

《一步（就労継続支援B型）》

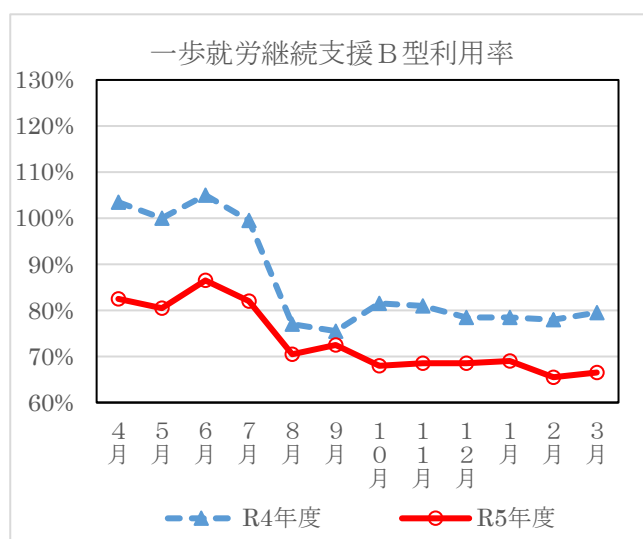
a 概況

- ・令和5年度はパンを中心に商品の大幅なリニューアルを実施しました。
- ・法人内での定期販売、ギフト販売やハートショップをはじめとする法人外販売の機会の増、施設外就労の継続により、令和5年度の平均工賃は20,000円を超え、前年度と比べて5,000円近く向上することが出来ました。
- ・手洗い、消毒を確実にを行い、食品に関わる事業所として、衛生管理と感染予防を徹底しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後は、イベント参加や外食、フルーツ狩り、劇団四季のミュージカル鑑賞など外出レクを実施しました。
- ・利用者様それぞれの障がいの程度や特性に応じた作業と支援の提供を行い、また、配置換えや新たな作業への挑戦など一人一人の能力の向上に努めました。

b 利用率の推移

定員	20名
開所日数	270日
延べ利用者数	3,951名
平均利用者数	14.6名
平均利用率	73.2%
平均工賃	20,067円

※延べ利用者数、平均利用者数、平均利用率は施設外就労1,022名/年を除く



(5) あづま事業所

ア、《彩光園（生活介護・就労継続支援B型）》

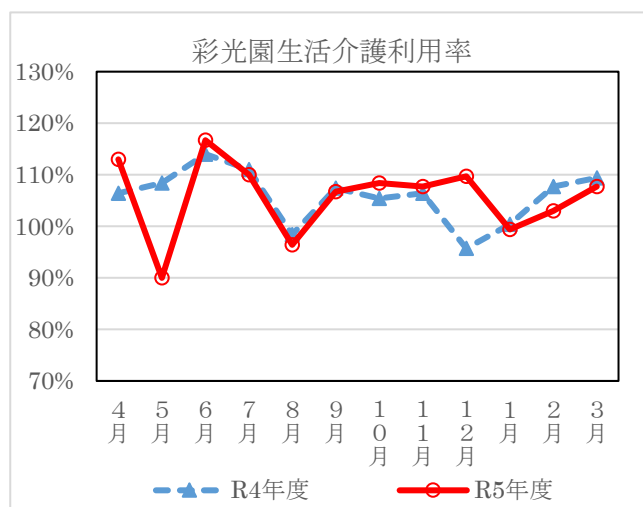
a 概況

- ・作業では、クリーニングのたたみ作業に加え、キャスターの梱包作業を継続して行いました。キャスターでは新たに仮組、組付け作業を開始し作業の幅を広げられたことで、より多くの利用者に作業に取り組んでいただけるようになりました。
- ・8年目を迎えた施設外就労では、協力企業との連携を密に行い、クリーニングの前処理作業を中心に多種多様な作業を継続して任せていただき、利用者1人1人が作業への責任や自信をもって取り組むことができました。また、作業での連携や情報共有を通して施設外就労先との信頼関係も強化されています。
- ・適切な感染予防対策も継続し、利用者に安心して作業に取り組んでいただける作業環境の提供に努めました。
- ・生活介護では、未だ外出や活動に配慮が必要となる状況の中でも、安心して人とのコミュニケーションや共に過ごす喜びを感じていただけるよう、日々のレクリエーションの充実を目指しました。新たにアート活動に力を入れ、また、作業と余暇活動の組み合わせを工夫することで、特別支援学校の卒業生の受け入れも進めました。
- ・外部との接触に十分配慮しながら、利用者家族やグループホーム、関係機関との情報共有を密に行い、より連携を強めることで個別支援の充実、利用者の獲得に努めました。

b 利用率の推移

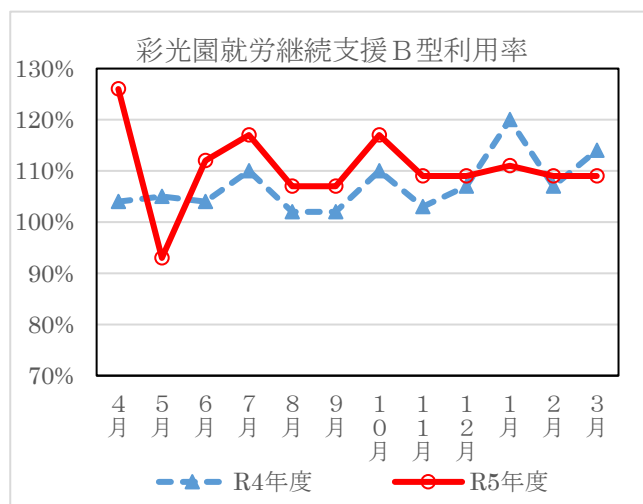
生活介護

定員	30名
開所日数	311日
延べ利用者数	9,837名
平均利用者数	31.6名
平均利用率	105.4%
平均区分	4.9



就労継続支援B型

定員	10名
開所日数	311日
延べ利用者数	3,418名
平均利用者数	11.0名
平均利用率	109.9%
平均工賃	35,222円



※延べ利用者数、平均利用者数、平均利用率は施設外就労 1,548名/年を除く

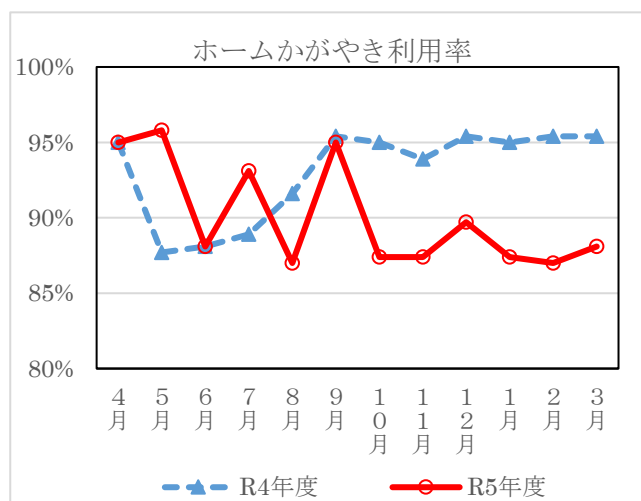
イ、《ホームかがやき（共同生活援助）》

a 概況

- ・かがやき・きらめき・ひばり合わせて合計定員数は26名で、令和6年度の平均利用者数は23.4名でした。重度化、高齢化等により、法人内の他施設へ1名、介護保険施設へ1名ご異動になりました。
- ・障害支援区分は、区分無しの方から区分6と様々です。棟ごとの平均区分の内訳は、かがやき4.4、きらめき5.1、ひばりは1.8となり、かがやき、きらめきに関しては障害が重度の方も多くご利用いただいております。3棟の平均区分は4.0となります。
- ・「利用者本位」「利用者主体」を考え、個別支援計画の作成を行いました。また、個々が持つ強みや、ご家族の要望を汲み取り、日々の支援からモニタリングを実施し、変動するニーズに合った支援を実践しました。
- ・新型コロナウイルス感染の予防のため、利用者様には外出の自粛に協力いただき、手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用、換気、3密回避に努めてきました。
- ・地域交流の機会である地域の納涼祭は3年ぶりに公民館内で開催され、参加いたしました。上羽田の八幡宮例祭では神楽が奉納され、利用者も見学し、地域の方と楽しむことができました。

b 利用率の推移

定員	26名
開所日数	366日
延べ利用者数	8,554名
平均利用者数	23.4名
平均利用率	89.9%



ウ、《なないろ（放課後等デイサービス・児童発達支援）》

a 概況

○放課後等デイサービス

- ・コロナ感染症は5類となりましたが8月頃からまた罹患者も出はじめ、冬にはインフルエンザを始めとする感染症の流行もあり、利用児やご家族、支援員やその家族と感染が続きました。今年度も保護者の連絡やSNSから各校の情報をいただき、秘密保持の原則に基づいて管理者と看護師、各支援員で共通理解を図るための感染情報と自粛要請をまとめたレジュメは27通になりました。おかげさまで、事業所と保護者間の早めの連絡調整が行われ『なないろ』の療育からは感染者を出さずにすみました。
- ・今年度の事業計画の達成については、長期休みの外出許可も出て利用児への療育提供は従前に近く多彩に行うことができました。また、利用児のニーズに基づく個々の課題を達成するための個別支援計画並びに2回のモニタリングについても、保護者の皆様のご参加と熱心なご意見をいただき個別支援計画の見直しにつながりました。
- ・感染症対策については、パーティションを利用した3密回避はもちろん、消毒用アルコール、

マスク、使い捨て手袋、ペーパータオル等も十分用意し、感染症対策キットの常備と必要に応じた N95 マスクの使用や抗原検査の実施も行いました。

- ・月の第 1 水曜日の支援員会議では、児童発達支援『きらら』の協議内容も含め利用児への療育や各行事の運営等の共通理解を図り職員のスキルを高めるよう努めました。
- ・保護者並びに関係機関との連携については、なないろだより『れいんぼう』に各関係機関から原稿をいただき、行事予定や写真等で利用児の様子をご家族や在籍校へお伝えしています。そして、保護者へはその日の利用児の活動を具体的にお伝えしご希望に応じて個別の相談も随時行いました。

○児童発達支援

- ・コロナの感染状況については、保護者の連絡と SNS からの情報により各ご家庭へ自粛要請をさせていただくと共に、必要に応じてパーテーションを使い小集団活動では消毒用アルコールを使用して利用児が安全に療育できるように努め『きらら』の療育から感染者を出すことはありませんでした。
- ・『きらら』を利用される保護者の方々は、土曜日の開所により仕事に支障をきたさず療育ができることを喜ばれ、手先の巧緻性やコミュニケーション等を育む個別の支援と小集団による社会性を育てる療育の組み合わせについてもご満足いただけました。
- ・個別支援計画の承認とモニタリングは例年通り実施して保護者からのご意見やご要望を取り入れ、発達段階のニーズに寄り添い利用児によっては外や別棟（にじ棟）で活動も取り入れてより個別に即した療育を提供してきました。
- ・『きららだより』は季刊号として各関係機関からも原稿をいただき、写真も掲載して利用児の様子をご家庭にお伝えしました。

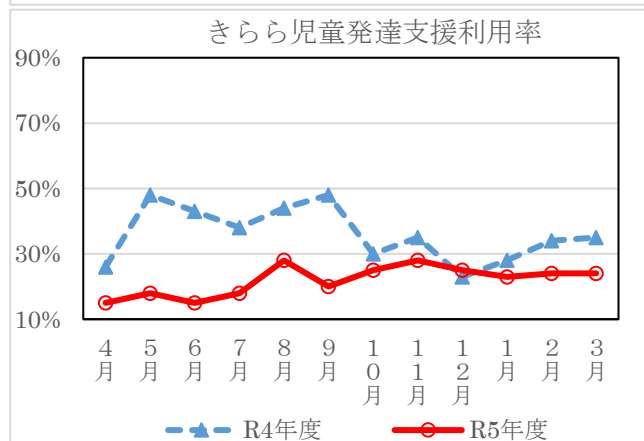
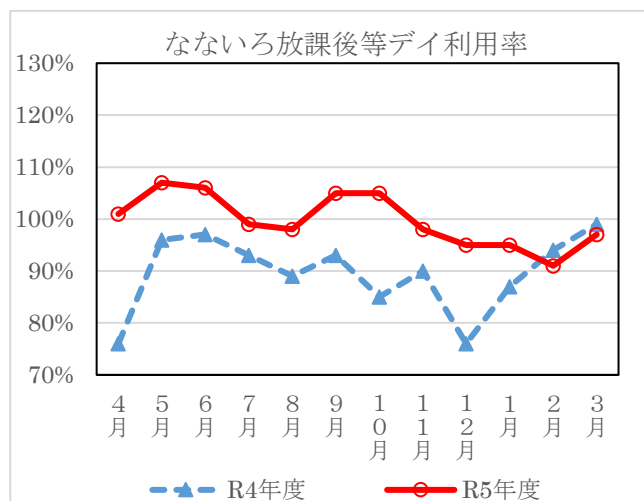
b 利用率の推移

放課後等デイサービス

定員	10 名
開所日数	292 日
延べ利用者数	2,903 名
平均利用者数	9.9 名
平均利用率	99.4%

児童発達支援

定員	10 名
開所日数	48 日
延べ利用者数	104 名
平均利用者数	2.2 名
平均利用率	21.7%



(6) 松原事業所

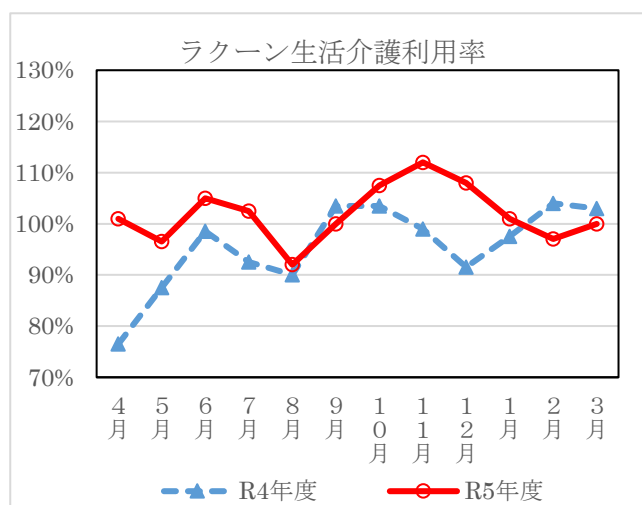
ア、《ラクーン（生活介護）》

a 概況

- ・昨年度から引き続き感染症対策に努め、大きな蔓延を未然に防ぐことが出来ました。又、今年度はコロナウイルスが5類に移行し一部外出行事、レクの再開により利用者のストレス軽減に繋げることが出来ました。
- ・法人内の「創作・芸術作品コンクール」に向けて利用者、職員が一つになり創作活動に励むことができ、当事業所の利用者様の作品が個人賞の金賞に選ばれました。
- ・支援員会議、法人内介護部会、自立支援協議会のケース検討勉強会や ZOOM 等の WEB 研修を活用し、職員のスキルアップに努めました。
- ・年間を通して生産活動（内職）を提供することで、充実した日中活動を送って頂きました。

b 利用率の推移

定員	20 名
開所日数	311 日
延べ利用者数	6,327 名
平均利用者数	20.3 名
平均利用率	101.7%
平均区分	4.6



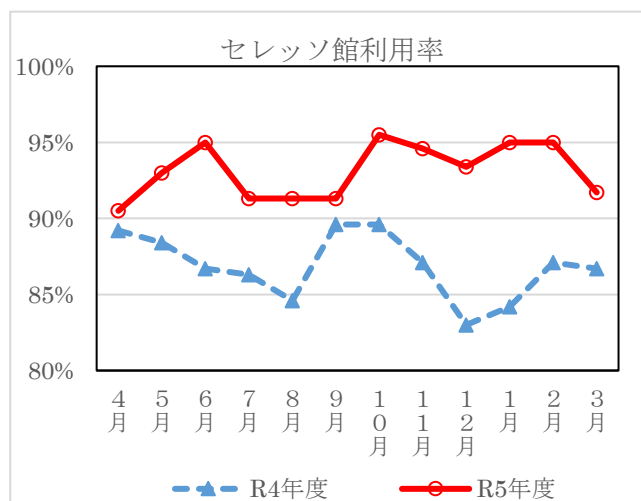
イ、《セレッソ館（共同生活援助）》

a 概況

- ・令和5年度当初は新規の利用者様6名の受け入れや、スタッフの異動が重なり、充実した支援に至る迄時間を要してしまいました。又コロナ感染については利用者様、職員数名が感染したものの重症化に至らず収束致しました。
- ・利用者ご家族様等及び行政関係とも、迅速な対応により信頼関係の構築が出来ました。年賀状、暑中見舞い等季節の行事等の郵送を今後も継続していきます。
- ・住環境及び安全面では、法定通りの火災避難訓練、水防訓練を実施し防災に対する意識の向上は図りました。

b 利用率の推移

定員	24 名
開所日数	366 日
延べ利用者数	8,157 名
平均利用者数	22.3 名
平均利用率	92.9%



(7) 六郷事業所

ア、《三柵屋總本店（生活介護・就労継続支援 B 型）》

a 概況

(就労継続支援 B 型)

- ・コロナウイルス感染症が 5 類に移行した経緯もあり、市内の各種イベント出店についても参加することができました。
- ・新製品「麦ちょこし」を開発製造し、本店の常時販売と、法人内注文販売を実施することができました。
- ・前年度の定員変更後、今年度は新規利用者様 3 名をお迎えいたしました。また、和菓子の製造事業と施設外就労を両立して実施し、工賃向上に努めました。

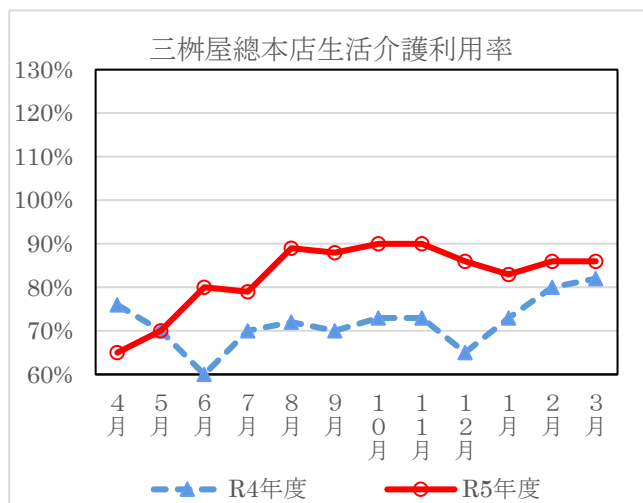
(生活介護：みますやあかでみい)

- ・令和 5 年度より、内職、駐車場清掃、デリバリー作業を主作業とし、就労系生活介護とし新しくスタートを切ることができました。
- ・芸術活動での分野で、ぼち袋作成や県障害者スポーツ大会用 T シャツ作成等に取り組み、法人内外でも様々な反響を頂くなど、売り上げに繋げる事ができました。
- ・今後は、工賃向上を視野に内職作業等の単価見直しや利用率改善に向けた利用者受け入れ体制の確保が不可欠と考えられ、来年度以降の課題と捉えております。

b 利用率の推移

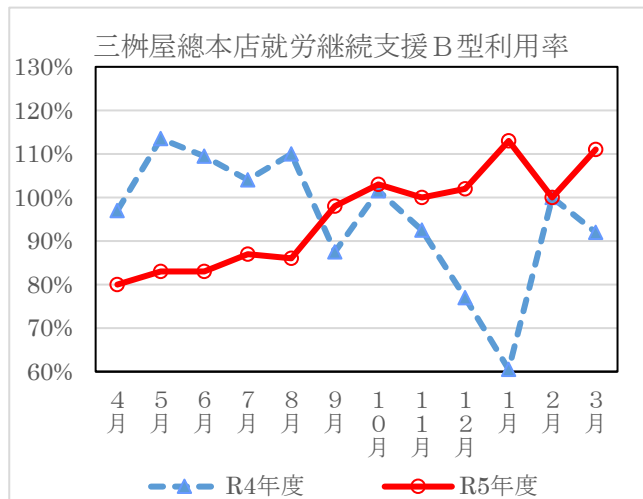
生活介護

定員	10 名
開所日数	269 日
延べ利用者数	2,211 名
平均利用者数	8.2 名
平均利用率	82.2%
平均区分	3.6



就労継続支援 B 型

定員	10 名
開所日数	311 日
延べ利用者数	2,953 名
平均利用者数	9.5 名
平均利用率	95.0%
平均工賃	35,007 円



※延べ利用者数、平均利用者数、平均利用率は施設外就労 1,023 名/年を除く

イ、《ホームみやび（共同生活援助）》

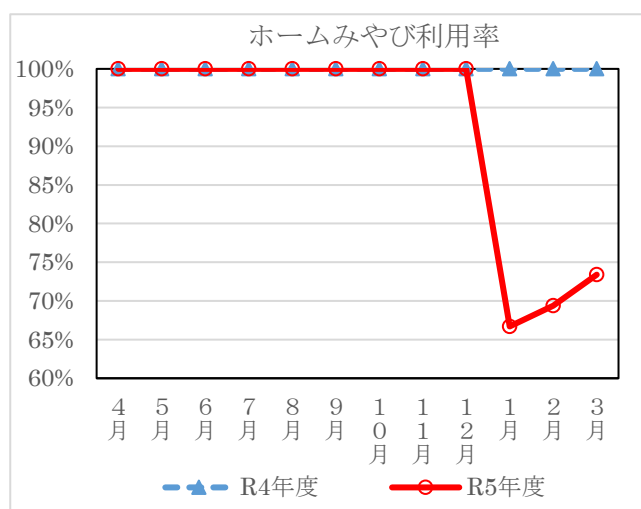
a 概況

- ・令和6年1月より「ホームいぶき」棟を開所し、定員15となりました。みやびの隣地にて2階建ての戸建て住宅を取得・改修し、比較的自立度の高い方がみやびから移り、地域での生活に向けての準備として利用開始となりました。
- ・毎年2月に行われる、1市5町の合同作品展にて、利用者の皆様が共同で制作した作品「カマキリとバッタ」が明和町賞を獲得しました。今後も余暇活動の一環として、個人、団体とも芸術活動に積極的に支援を行います。
- ・敷地内菜園にて、野菜や果物を利用者様とスタッフが一緒に栽培、収穫、調理し、非常に喜んで頂きました。

b 利用率の推移

定員	15名
開所日数	366日
延べ利用者数	3,700名
平均利用者数	10.1名
平均利用率	92.5%

※令和6年1月より定員10名→15名



ウ、《カレンフィールド（生活介護）》

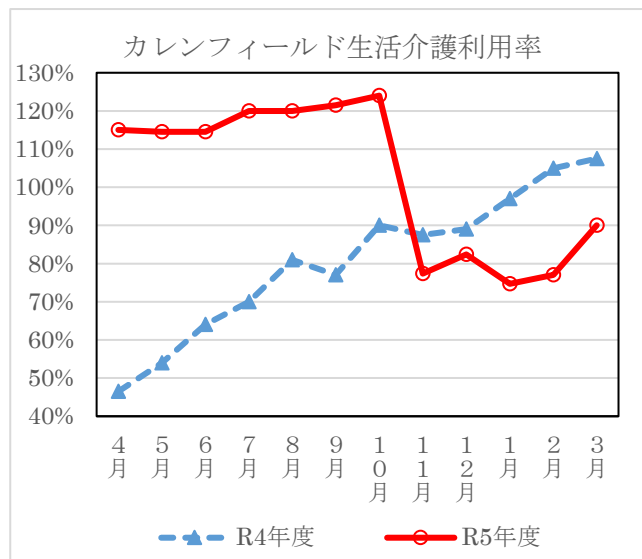
a 概況

- ・開設から2年目を迎えましたが、多くの新規の利用者様にご利用いただき、令和5年11月に定員20名から30名と増員いたしました。館林市内の事業所としては最重度の利用者様の受け入れを行い、利用者様の障害支援区分の平均区分は5.3でした。
- ・同一建物内にある共同生活援助事業所「カレンホーム」と協力し、利用者様を365日24時間支えられる仕組みづくりを行い、安全・安心・安定した生活の支援を行いました。
- ・地域の中の事業所を目指し、日本文化遺産に登録されている茂林寺沼のごみ拾いや、地域の高校の取り組みに賛同し、葦を使用したストローづくりの作業を行いました。
- ・午前中は主に入浴支援を実施し、午後の活動では利用者様に合わせて、カラオケ等デイアクティビティ、散歩やドライブ等の屋外活動等、多種多様なメニューを実施し、好評を頂いております。
- ・スプリンクラー設備を整備し、利用者様の安心、安全な空間づくりを行いました。

b 利用率の推移

定員	30名
開所日数	311日
延べ利用者数	7,405名
平均利用者数	23.8名
平均利用率	102.6%
平均区分	5.3

※令和5年11月より定員20名→30名



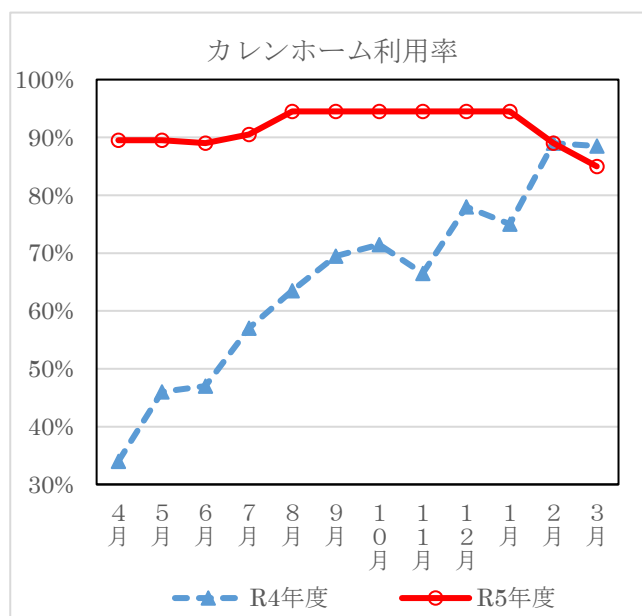
エ、《カレンホーム（共同生活援助・短期入所）》

a 概況

- ・2年目となりますが、法人内唯一の日中サービス支援型のグループホームとして、夜間の排泄介助や見守り支援など、重度の方の居住サービスの提供を実施しております。そのため、地域からの需要も高く、3月末現在19名の方がご入居されております。
- ・7月の最終週には明和町の花火大会に合わせてレクリエーションを実施するなど、季節に合わせた行事の拡充をおこなうことができました。
- ・併設する短期入所では、地域での資源が少ないことから、体験の利用や保護者の方のレスパイト、また緊急時の受け入れ先として、前年度以上に多くの方のご利用がありました。緊急時の対応も行い、保護者の方の急な入院の際でも住まいの場の確保を実践いたしました。
- ・看護師が配置されており、日々の健康管理を密にし、通院等きめ細やかに対応させて頂きました。
- ・電気購入会社の変更や、利用者の皆様に節電の意識を持っていただき、事業所全体の光熱水費を大幅に削減することが出来ました。
- ・1月にスプリンクラー設備を整備し、入居されている方が安心して暮らせる環境を整えました。

b 利用率の推移

定員	20名
開所日数	366日
延べ利用者数	6,692名
平均利用者数	18.3名
平均利用率	91.4%



オ、《愛光園障がい者相談支援センターひかり～輝～（計画相談支援）》

指定特定相談支援事業所の名称	愛光園障がい者相談支援センターひかり～輝～		
主な対象市町名	群馬県館林市、邑楽町、千代田町、板倉町、明和町、大泉町、栃木県足利市、佐野市		
職員配置の状況	氏名	職種等	資格等
	本間晴香	相談支援専門員	社会福祉士
業務項目	業務の実施方針等		回数、件数、開催時期等
① サービス等利用計画およびモニタリングの実施	○令和5年5月に法人内2拠点目の特定相談支援事業として開設しました。		随時 成人 17件 児童 20件
	○地域に根差し、利用者様の適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるような計画を作成しました。		
	○利用者様の希望や目標の達成状況などを含めて、モニタリングを実施し、生活の向上を目指す支援を行いました。		・モニタリング時期 ・状況の変化に応じて 成人 47件 児童 42件
② 関係機関との連携	○利用者様の望む生活が実現できるよう、市町、障害福祉サービス事業者等との連携を図りました。		随時
	○1市5町で開催されている自立支援協議会に参画し、地域の困りごとや、今後の相談支援事業の拡充等に向けて話し合いを行いました。		

(8) 猿田事業所

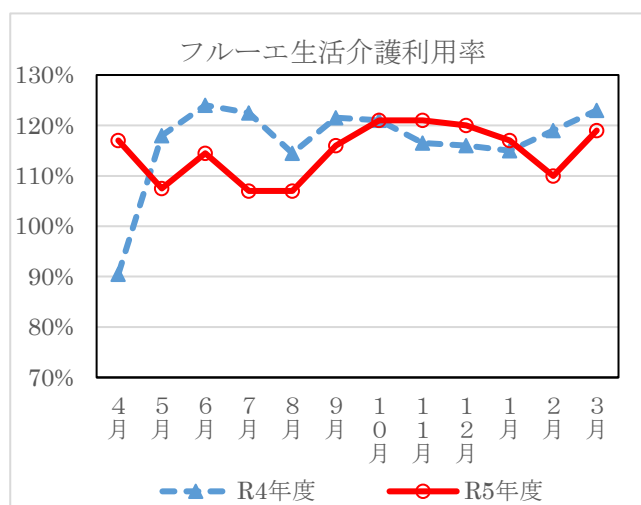
ア、《フルーエ（生活介護）》

a 概況

- ・感染症対策（テーブル上のパーテーションの設置、マスクの着用「食事介助者対応時のフェイスシールド使用」、うがい、手指消毒、送迎車内の消毒、ホール内の消毒、換気の徹底）を通年行う事で、クラスターを発生させることなく支援できました。
- ・外出レクを自粛している中、利用者様に喜んでいただくため、テイクアウト、出前等、普段食べられないものを提供しました。（海鮮丼やお弁当等）
- ・行事については、ホール内で出来るものを行いました。（開設5周年記念、七夕、夏祭り、ハロウィン、芋煮会、クリスマス会、新年会、手作りおやつや手作りカレー等）
- ・フルーエの取り組みとしては入浴日と活動日を分けて取り組む事で、利用者様との関わる時間を確保でき、継続した活動の取り組みを行うことができました。活動日（火、木）は音楽療法や創作活動など、楽しく参加出来る内容を提供しました。
- ・生産活動として内職を希望する利用者様が多く、活動を調整しながら提供を行いました（おかずカップ詰め、エバーパッキン、ガゼットバック詰め、保冷剤の袋詰め等）。
- ・成人を迎えた利用者様が1名いらっしゃいました。フルーエでは成人のお祝いとして利用者様皆さまで、ジュースで乾杯いたしました。
- ・職員のスキルアップのため、事業所内研修を実施しました。（基本的な感染症対策について、アンガーマネジメント、福祉のレクリエーション等）

b 利用率の推移

定員	20名
開所日数	311日
延べ利用者数	7,124名
平均利用者数	22.9名
平均利用率	114.5%
平均区分	4.9



イ、《愛光園障害者相談支援センター共生（計画相談支援）》

指定特定相談支援事業所の名称	愛光園障害者相談支援センター共生		
主な対象市町名	栃木県足利市、佐野市、群馬県館林市		
職員配置の状況	氏名	職種等	資格等
	原 健一	相談支援専門員	社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員
	室岡三慈	相談支援専門員	社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員
業務項目	業務の実施方針等		回数、件数、開催時期等
③ サービス等利用計画およびモニタリングの実施	○利用者様がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるような計画を作成しました。		随時 成人 159 件 児童 6 件
	○利用者様の意思及び人格を尊重して、利用者様の立場に立ち計画の作成を行いました。		児童の多くはひかり～輝～に移動
	○利用者様の希望や目標の達成状況などを含めて、モニタリングを実施し、生活の向上を目指す支援を行いました。		・モニタリング時期 ・状況の変化に応じて 成人 442 件 児童 3 件
④ 関係機関との連携	利用者様の望む生活が実現できるよう、市町、障害福祉サービス事業者等との連携を図りました。		随時

(9) 足利市障がい者基幹相談支援センター

障害者相談支援事業 実績報告書(令和5年度)								
障害者相談支援センターの名称等	足利市障がい者基幹相談支援センター							
対象市町村名	足利市							
職員配置の状況	氏名	職種等	資格等					
	茂木 成一	センター長						
	長 秀紀	主任相談支援専門員	社会福祉士、社会福祉主事、障害者上級ケアマネ研修修了、介護支援専門員、主任相談支援専門員、医療的ケア児等コーディネーター					
	尾澤 嘉孝	相談支援専門員	社会福祉主事、高校2級社会科教員免許、手話通訳者、セルフ士、障害者上級ケアマネ研修修了、全リハ協アドバンスコース修了、ひきこもりサポーター、医療的ケア児等コーディネーター					
	勝又 明日香	相談支援専門員	精神保健福祉士、社会福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員、公認心理師					
	小野 広久	相談支援専門員	介護福祉士、社会福祉主事					
相談実績	相談実人数	431(内児童72)						
相談形態 (延べ件数)	電話・メール	来所	訪問	同行	関係機関	支援会議	その他	計
	1,409	323	356	132	570	7	122	2,919
処理(対応)実績(延べ件数)								
情報の提供								1,485
サービス利用の助言								438
サービス利用の申請援助								347
生活プラン作成援助								4
他機関紹介								23
その他								1,241
合計								3,538
※相談形態と処理(対応)実績の件数については、1件の相談で複数の処理(対応)をする場合もあるため、件数は一致しません。								
○ 主な相談事例								
<p>身体障がい者:30代男性、小児脳性麻痺、身障手帳1級、支援区分5。病気の母と目の不自由な兄と3人暮らし。生活介護を週5日利用していたが、居室が不衛生であり、ごみが山積している状態であったため、担当の相談支援専門員と生活保護の担当CWと検討し、便利屋により居室のごみの処分を行った。その上で電動ベッドの申請を行い生活環境を整えた。その後、母親の緊急入院により計画相談事業所の手配で緊急の短期入所の利用となった。母親の入院が長引いたため、長期の短期入所となった。母親の退院後は、生活介護と短期入所を併用して在宅で生活することについて検討することになっている。</p> <p>知的障がい者: 64才男性、療育手帳B1、母親が亡くなった平成29年5月から弟と二人で利用していたB型事業所の法人のGHIにてあすてらすの金銭管理の支援を受けて生活していたが、一人で生活し、福祉の利用は辞めたいとの希望があり、姉は支援できないとの事で、アパートタイプの他市のGHを紹介し、見学を設定、本人も気に入り、利用となった。</p> <p>精神障がい者:20代男性。統合失調症、精神保健福祉手帳2級。通院を継続しながら週3日飲食店でアルバイトをしているが、忙しい時間になると余裕がなくなり仕事ができないことで後々自己嫌悪に陥って落ち込んでしまうので、主治医やカウンセラーに相談したところ、自分のペースで仕事ができるような、就労継続支援A型やB型などの就労支援の利用も検討してみるよう助言を受けたとのこと。本人としても、今後は障害特性を分かってくれて、できるだけ長く働ける職場を探していきたいとの話があり、A型の利用を検討していくこととなった。市内、市外のA型事業所を一通り見学し、その後市内のA型事業所での体験利用を経て採用が決定。現在は週5日順調に通えている。</p>								

社会資源創出等に関する企画・提言(企画・提言の有無、内容、提言結果等を記載)

足利市地域自立支援協議会の各専門部会において、地域課題の協議を行った。

地域支援部会1G(精神疾患のある方の地域課題の協議)

課題:①高齢者支援と精神科医療機関との連携

目的:①円滑な連携が図れる

協議(取り組み)結果:①令和6年1月29日に元気高齢課主催の地域包括支援センターの「実務者連絡会議」の枠で情報交換会の開催し、地域包括支援センター職員と精神科ソーシャルワーカーとの情報交換を行った。連携の現状と課題を共有でき、顔の見える連携のため、このような情報交換の機会を継続する必要があるとの認識を共有した。また、未治療、治療中断の方の対応は以前として課題であることも共有できた。令和6年度は、足利市の介護支援専門員情報交換会の中で精神科医療機関との情報交換会を開催できるよう検討していく。

地域支援部会2G(知的・身体の障がいのある方の地域課題の協議)

課題:①障がい児・者への安心キットの活用、②家事やお金の使い方などの基礎を学ぶ場はないか、③相談支援の地域での連携や体制整備、④地域のケアマネジャーと相談支援専門員との情報交換ができる場が増えると良い/高齢の家族と障害のある人が一緒に生活可能な施設等があれば良い

目的:①緊急時に有用なキットを広く障がい児・者知ってもらい活用してもらう、②公的な支援では対応が難しい部分の支援についての意見交換、③相談支援体制の検討、④連携の強化/安心した生活

協議(取り組み)結果:①民生委員や担当ケアマネジャーを通して周知する、②まごころサポートあしかがやシルバー人材センターの活用の提案、③相談機関が点在し、比較的連携が図れているので、今の連携を継続していくことが望ましい、④重層的支援体制整備事業の実施において自ずと情報交換の場が増える

就労支援部会(就労に関する課題の協議)

課題:①「足利市内の就労系事業所ガイドブック」の編集・発行、②市内の就労継続支援事業所A型、B型の視察結果の確認、③就業者および就労訓練施設利用者の衛生面への支援、④市内の就労系事業者同士の交流の場や勉強に場がない、⑤その他課題提起(障害者雇用ビジネス、在宅ワークについて)

目的:①就労系事業所の役割および事業所の周知、②部会員による市内の就労系事業所の把握、③適切な支援の検討、④質の高い支援のきっかけを作る、⑤就労を取り巻く情報の共有

協議(取り組み)結果:①関係機関の説明を加え、A型利用の場合の手続きの流れを加える、②新規事業所の把握、③既存のGWを利用して生活習慣を身に着ける、④定期的に就労系事業者同士で情報交換し学び合える場を検討する、⑤意見交換

児童支援部会(児童に関する課題の協議)

課題:①「医療的ケア児ガイドブック」の編集及び発行、②事例検討部会から出された課題(1.成長に合わせた関係機関の連携、2.母子関係の構築、3.相談しやすい体制、4.養育機能が低い家庭への支援)、③医療的ケア児に対する今後の取組

目的:①医療的ケア児および支援の周知、②関係機関との連携、相談体制の強化、既存の資源の活用、③ネットワークの構築および支援の充実

協議(取り組み)結果:①変更箇所を確認して、基幹相談支援センターのHPにて発行、②子育て支援シートの活用についての意見交換、相談体制の意見交換、4については継続協議、③支援の課題についての意見交換(介護者のレスパイト、就園・就学の課題災害時の避難等)

ピアカウンセリング(障害者相談員等による面接)

相談回数:0回

地域の相談支援体制の強化の取り組み

○市内の相談支援事業者に対する専門的な指導、助言:支援困難事例など随時助言を行い、必要に応じて担当者会議の開催を勧め同席し検討したり、自ら担当者会議を開催して改めて支援の見立てと手立てを検討した。

○市内の相談支援事業者の人材育成の支援および地域の相談機関との連携強化の取り組み

・足利市地域自立支援協議会事例検討部会:グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討を6回開催。計画相談事業所から事例を報告があり、支援で困っていることに焦点を当てて、事例の見立てと手立てを検討することで、事例提供者の支援の気づきを促した。また司会や板書者、参加者においてもそれぞれに事例検討を通しての気づきを得られた。

・安足地区障害者相談支援事業者等連絡会:佐野の基幹相談支援センター(相談支援センターみどり、相談支援事業所さの)と共同で対面にて2回開催。第1回は令和5年8月8日(火)に46名の参加で、『「基幹相談の役割と特定相談との連携」をテーマに講義とグループワークを行い、お互いの役割を理解し、連携を図れるきっかけとした。第2回は令和6年2月22日(火)に40名の参加で、『「精神疾患のある方への対応～事例から学ぶ」をテーマに、みどり市の指定特定相談支援事業所つむぎの相談支援専門員に、市内の生活介護を利用している方の事例を報告してもらい、事例報告とGWを繰り返し、支援者の対応や関係機関との連携などについて学びを深めた。

○幅広い対象者からの相談

身体、知的、精神障害以外にも難病や発達障害、高次脳機能障害、介護保険の特定疾病、発達障害が知的障害の可能性のある方など幅広い対象者またはその家族、関係者からの相談が寄せられ、都度関係機関と連携して対応した。また、医療的ケア児に関する対応依頼が、専門機関からあり、カンファレンスに出席し、在宅での生活について一緒に検討した。

○特別支援学校の進路相談会への出席

足利中央特別支援学校および足利特別支援学校の進路相談会に市の担当と出席し、本人、親と担任、進路指導主事と卒業後の進路について検討を行った。

○市役所窓口による相談業務 11 件

毎週月曜日(祝祭日を除く)の午前9:30～12:00まで市・障がい福祉課に相談支援相談支援員が出向き相談対応を行った。窓口において相談がある場合は、障がい福祉課の担当者と一緒に面接を行い、状況とニーズを確認した上で支援について情報提供した。生活困窮、障害者手帳の交付、サービス(居宅介護、就労継続支援A型、B型、グループホーム)の利用などの相談があった。

総合的・専門的な相談支援の実施について

○身体、知的、精神、発達、高次脳、難病等、障がいの種別も多岐に渡り、重複している方からの相談も寄せられたが、昨年に引き継ぎ、特に精神疾患、発達障害のある方の相談が多かった。延べ相談の割合は、身体障がい者772件(17%)、知的障がい者1,497件(34%)、精神障がい者1,495件(34%)、発達障害212件(4%)、高次脳機能障害140件(3%)で、受付経路は、全体の52%が本人、家族・親戚、事業者・施設がそれぞれ17%、市町が6%となっている。

就労相談では、療育手帳の交付手続きをした上で、両毛圏域障害者就業・生活支援センターと連携し、障害者雇用につながった事例や引きこもりの方で、本人の了解を得て就労訓練事業所の紹介をした事例、地域包括支援センターと協力し、障害福祉サービスから介護保険サービスにスムーズに移行した事例など多岐渡り相談に対応した。

精神疾患のある方については、安足健康福祉センターや精神科病院と医療保護観察の対象者は、宇都宮保護観察所等とも連携して対応した。いずれの事例も、インテーク面接を経てアセスメントを行い、ニーズを明らかにしつつ、関係する機関・団体等と連携して相談を進めた。

○療育手帳の出張判定において、必要に応じて専門的な見地から助言を行った。

○医療的ケア児等コーディネーターが大学病院の退院後に向けたカンファレンスに出席し、地域の医療、看護、福祉の関係者とともに退院後の支援の確認および検討を行った。

その他(関係機関との連携状況等を記載)

○足利市健康福祉部生活保護担当が主催する「生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議」(対面および書面)に出席し、障がいのある対象者に対しての意見交換を行い連携を図った。

○地区の包括支援センター、介護事業所、民生委員、住民等と連携を図るために、北郷地区合議体に参加し、地域の情報と課題の共有を図り、必要な時に連携が図れるようにした。また、令和5年7月13日に足利市地域包括支援センターきた・なか、毛野・富田合同情報交換会で「障害福祉サービスと介護保険サービスの相互理解を深める」というテーマで職員が講義と質疑応答を行い、地区のケアマネージャーの方達に障害福祉サービスの理解を促した。また、令和5年12月15日に足利市地域包括支援センターきた・なか、毛野・富田、協和・愛宕台の情報交換会にて「精神疾患のある方への対応について」というテーマで職員が講義と質疑応答を行い、地区のケアマネージャーの方達に精神疾患のある方とその支援についての理解を促した。

○若年性認知症の支援に関しては、職員が研修会に企画側として参画し、病気とその支援について周知を図った。

○安足地区精神障害者支援ネットワーク会議においては、地域移行と普及啓発の委員会にそれぞれ所属し、精神障害者にも対応した地域包括システムに対する意見を述べた。

○就学前の保育園、幼稚園の特別支援コーディネーターワーキングに助言者として協力した。

○足利市中心身障害者・発達障害児療育推進連携協議会に委員として出席し、障害児の支援について協議を行った。

○栃木県高次脳機能障害者支援連携協議会に出席し、高次脳機能障害のある方の支援の現状と課題について検討した。

○地域生活支援拠点整備事業(あっしーネット事業)については、緊急短期入所の体験利用の相談があり、10歳の児童が登録事業所の施設入所事業所で令和6年3月に日帰り体験入所を実施した。事前に見学をして、不安を軽減した上で午前9時～12時の日帰りでの利用。結果、職員と一緒に創作活動を行って問題なく過ごせた。親の病気等の緊急時に利用できる施設を一つ増やすことができた。

○ボランティアグループあしかが子育てネット主催の保護者体験談と座談会「子育てウチの場合」令和5年11月15日に助言者として協力した。

3. 部会報告

(1) 就労部会

- ・クリーニング事業、食品事業と連携した取り組みを行いました。
- ・利用者様のレクに関わる活動については法人内の一歩、三軒屋への外出レクや、事業所別外出レクにもチャレンジしました。
- ・就労の正職員を対象に交流会を行い、事業所間交流等楽しい1日を過ごしました。
- ・各事業所事に光熱費（電気・ガス）の削減運動（休憩時間等には消灯する。ガス使用時間を短く効率よく使用するなど）に取り組みました。
- ・就労全体研修会で工賃規程・工賃の算出方法をあらためて確認しました。食品事業についてはあらためて工賃算出方法を見直す事になりました。

日付	区分	内容等	人数
R5.4.28	運営委員会	今年度の就労部会全体活動について 利用者交通費支給について	7人
R5.6.19	レク委員会	利用者レクについて（行先や方面・時間等） 就労部会職員レクについて	10人
R5.6.21	運営委員会	レク委員会より報告 ① 利用者レクについて（スケジュール案等） ② 職員レクについて 就労部会全体会について	7人
R5.8.30	運営委員会	就労部会全体会について	5人
R5.9.24	事業所担当	障がい者スポーツ大会参加（宇都宮市）	24人
R5.10.16	運営委員会	就労部会全体会について （正職員が作業評価表を作成できるようにする）	6名
R6.3.21	レク委員会	外出レクおよびそれ以外のレクについて 来年度のレクについて	7名
R6.3.29	運営委員会	来年度の就労部会について 組織図について	6名

【全体研修会】

日付	区分	内容等	人数
R5.12.7	全体研修	作業工賃算出方法および作業評価表の作成方法について グループワーク（模擬評価会）	33人
R6.3.8	研修会	虐待防止及び身体拘束適正化研修会	47名

【職員交流会】

日付	区分	内容等	人数
R5.11.5	就労部会 全体レク	*名草釣り堀場の敷地内、バーベキュー等 （居住・児童・基幹相談分野も一部参加）	48名

(2) 介護部会

介護部会は専門的な介護技術取得のための研修等を実施しております。今年度は全体会の開催の他、第2回目となる創作・芸術作品コンクールを開催し、利用者様の活動意欲向上に努めました。また、全体会及び研修会を3回開催し、職員の資質の向上に努めました。

【ユニット会議】 ※下記の他、各事業所の状況や研修の報告等を実施。

日付	区分	内容等	人数
R5.4.14	ユニット会議	利用者の芸術系の活動進捗状況について 他	9名
R5.5.16	ユニット会議	エリア送迎の拡張について 他	9名
R5.6.13	ユニット会議	介護マニュアルの更新について 他	10名
R5.7.11	ユニット会議	全体会について 介護部会交流会について 他	10名
R5.8.15	ユニット会議	芸術に関する研修の伝達 全体会について 他	9名
R5.9.18	ユニット会議	全体会について 食事介助時のスタッフの服装について 他	9名
R5.10.20	ユニット会議	作品展コンクールについて 介護福祉士会マニュアルの策定について 他	10名
R5.11.14	ユニット会議	作品展コンクール 2024 について 他	10名
R5.12.15	ユニット会議	虐待防止研修、身体拘束適正化研修について 他	10名
R6.2.14	ユニット会議	虐待防止研修、身体拘束適正化研修について 令和6年度報酬改定について 他	10名
R6.3.9	ユニット会議	虐待防止研修、身体拘束適正化研修について 来年度の取り組みについて 他	11名

※R6.1は感染症まん延のため中止。

【全体研修会】

日付	区分	内容等	人数
R5.8.23	全体会	困難ケースにおける、ケーススタディ	41名
R6.1.12	全体会	アート研修会 NPO 法人ながのアートミーティング 代表 関孝之氏	43名
R6.2.27 3.8	研修会	虐待防止及び身体拘束適正化研修会 ※当日参加できなかった職員は Web 研修	27名 33名

【職員交流会】

日付	区分	内容等	人数
R5.10.8	交流会	富岡製糸場～こんにやくパーク～めんたいパーク	32名
10.15			24名

(3) 居住部会

令和5年度はサビ管グループにて、グループホーム（以下 GH）の方向性や法人内の GH 全体に関わる課題等について、協議・検討を行いました。

日付	区分	内容	人数
R5.4.21	サビ管 グループ	「住まいの場 めざす方向」理事長より 各 GH の空き、入居予定、希望者について マイナンバーカードについて 光熱水費について（令和5年度の金額設定）	8名
R5.6.13	サビ管 グループ	各 GH の空き、入居予定、希望者について 服薬管理（誤薬防止）について 「5年後の形を見据えて」について	8名
R5.11.14	サビ管 グループ	各 GH の空き、入居予定、希望者について BCP（業務継続計画）について 虐待防止研修について	8名
R5.12.4	サビ管 グループ	各 GH の空き、入居予定、希望者について GH 内カメラ設置について 備蓄品について 虐待防止研修について いぶき見学について	8名
R6.1.9	サビ管 グループ	ホームいぶき見学実施 各 GH の空き、入居予定、希望者について 虐待防止研修について マイナンバーカードについて 来年度以降の部会について シルバーライフ（朝夕食について） 事業所内の問題、悩みについて	7名
R6.3.12	サビ管 グループ	各 GH の空き、入居予定、希望者について 令和6年度居住部会組織図について 食事提供について 報酬改定について 令和6年度から義務化される項目について	7名

(4) 地域支援部会

相談支援業務に従事する社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員の有資格者5名を構成員とし、相談支援や援助技術において専門的な見地から、助言できる人材の育成を図っていく活動を行いました。主に、個別支援会議、個別支援計画、ケースの検討や援助技術等、事業所のニーズに応じた内容を企画し、各事業所に出向いて研修を開催しました。支援の流れについて同業種の職員同士が確認し合い、研修後も個別に支援方法を学びあうなどの動きも見られました。相談支援に従事する構成員も各サービス管理責任者と支援の流れを確認でき、現状と課題を共有することで、より連携を図りやすくなったのではないかと感じています。

日付	区分	内容	人数
R5.6.16	研修	令和5年度第1回地域支援部会（出前研修） GHにおけるモニタリング～個別支援計画作成までの確認と検討 ・支援の流れの確認 ・ほのか職員による実施報告 ・グループで意見交換し、ブラッシュアップ ・まとめ：出された意見を発表する（共有し参考とする） 開催後のアンケートでは個別支援計画におけるニーズ設定について改めて確認できた、他の事業所の支援を参考にできた等の意見が出され、サービス管理責任者と職員が協力し合い、声かけあい、スケジュールの管理をしていくことが重要であることの確認がなされました。	9名
R5.9.27	研修	令和5年度第2回地域支援部会（出前研修） 就労継続支援B型および生活介護（作業系）におけるモニタリング～個別支援計画作成までの再確認と検討 開催後のアンケートでは、他事業所の支援の仕方などを含めて、参考にできること、意見を聞くことができたので良かった、アセスメントやモニタリング、個別支援計画作成の再確認をすることができた、等の意見が出された。	11名
R5.11.21	研修	令和5年度第3回地域支援部会（出前研修） 生活介護（作業系を除く）におけるモニタリング～個別支援計画作成までの再確認と検討 開催後のアンケートでは、担当制の導入や支援状況表の活用などを行うことで、モニタリング～個別支援計画作成までの業務分担ができると思うので今後取り入れていきたい。普段思っていること、疑問に感じていたことを話すことができてよかった等の意見が出された。	13名
R6.3.21	研修	令和5年度地域支援部会 構成員対象の虐待防止研修 相談支援の現場で見聞きする虐待（疑い）についての情報交換を含め、虐待防止についての理解を深めた。	7名

4. 委員会報告

(1) 人材育成委員会

職員の支援力向上、組織人として求められる知識・スキルの習得を目的に活動しています。
初級オリエンテーション、中級オリエンテーションといった階層別研修を中心に活動。
階層別教育の見直し等、法人の人材育成における課題を確認しながら、育成体制の再構築に
向け取り組みました。

【委員会開催】

日付	議題等	人数
R5.6.9	初級オリ・中級オリ開催について 階層別研修の見直しについて	6名
R5.7.14	初級オリエンテーション開催について	6名
R5.8.10	初級オリエンテーション開催内容、スケジュール決定 中級オリ「メンタルヘルス研修」について	6名
R5.9.8	初級オリエンテーション最終確認 (WEB)	6名
R5.10.26	初級オリ反省、振り返り	6名
R6.2.1	初級オリ外部講師研修について R6 年度事業計画、副委員長選任、研修担当について	6名
R6.3.27	R6 年度初級オリエンテーションについて 階層別研修見直しについて	6名

【研修開催 (外部研修受講含む)】

日付	研修内容	人数
R5.9.21 9.28	令和4年度 初級オリエンテーション 理事長講話、常務から事業所説明、事業所見学 各種講義：「障害について」「リフレーミング」	16名
R5.10.18	中級オリエンテーション専門研修② 「メンタルヘルス」	22名

(2) 広報委員会

広報委員会では、内報部と外報部に役割を分けて活動を実施しております。内報部では、広報誌の管理や、ホームページの訂正箇所の修正等をメインに行い、外報部は、施設見学会の実施、SNSを主体的に実施している職員を集めて会議を実施、SNS 大賞や広報誌大賞の選定などの活動を実施しました。また、月に1回広報トピックスを作成し、従業員に関わる身近な話題、社会情勢などを題材に、法人に所属している従業員対象の内報誌の作成を継続的に行いました。

日付	内容等	人数
R5.4.11	第12号広報トピックスについて アップデート第8号について 愛光園公式ラインについて	6名
R5.5.12	第13号広報トピックスについて ラインワークスについて 佐野日本大学短期大学、見学会について	7名
R5.6.6	第14号広報トピックスについて SNS 担当者会議について	6名
R5.7.4	第15号広報トピックスについて SNS担当者会議について	4名
R5.8.8	第16号広報トピックスについて ホームページの修正について	5名
R5.9.5	第17号広報トピックスについて SNS担当者会議報告 ホームページの修正について	6名
R5.10.10	第18号広報トピックスについて ラインワークスの運用について 佐野日本大学短期大学アンケートについて	5名
R5.11.7	第19号広報トピックスについて 広報トピックスの内容の再精査について 広報委員会の構成員について	6名
R5.12.12	第20号広報トピックスについて 来年度の活動について SNS大賞について	5名
R6.1.19	第21号広報トピックスについて SNS大賞について	5名
R6.2.7	第22号広報トピックスについて 事業所紹介・職員の写真掲載・取材対応について ラインワークスの運用について	6名
R6.3.5	第23号広報トピックスについて SNS大賞について 来年度の広報委員会の活動・役割について	6名

(3) サービス向上委員会

- ・令和5年度よりサービス向上委員会と名称を改め、より利用者様が過ごしやすい環境を考えていく事と合わせ、外部の方への対応など事業所間の差が少なくなる様、方向性などを示すことが出来ました。
- ・法人内の「一步」、および「彩光園」への委員による巡回を行い、危険個所や修繕個所の確認や改善取り組みを行う事で、より安全に利用者様に過ごしていただけるようになりました。
- ・今後、さらに施設に求められてくる地域に開けた施設の運営に向け、地域との交流の機会を作るべく、令和6年度の活動に向け取り組みを開始しました。

【委員会及び取り組み開催内容等について】

日付	内容等	人数
R5.6.2	委員会名称の変更経緯について 今年度の取り組み内容について	6名
R5.7.29	大久保事業所の巡回について 電話対応・来客対応について	5名
R5.8.10	<事業所巡回：一步実施>	3名
R5.8.17	大久保事業所の巡回結果について 施設の緊急時の対応について	5名
R5.8.10	<事業所巡回：あづま事業所実施>	5名
R5.10.12	あづま事業所の巡回結果について 一步、及びあづま事業所の改善実施について 地域交流イベントの開催検討について	5名
R5.11.9	<事業所巡回改善対応：一步実施>	4名
R5.11.16	一步の改善実施報告について 地域交流イベントについて	5名
R5.12.22	職員の身だしなみについて 特別支援学校関係者の施設見学会の開催検討について 室内の温度設定について	6名
R6.2.21	地域交流イベントについて 意見箱の設置について 職員の交流について 夏場のユニフォームについて	5名
R6.3.26	居住部会イベントのサポートについて R6年度事業所巡回予定（山川事業所）について	6名

5. 評議員会の開催状況

	日程	内容
1	R5.6.21	業務運営状況について 令和4年度事業報告について 令和4年度決算報告について 役員を選任について 社会福祉充実残額について
2	R6.3.28	業務運営状況について 令和5年度補正予算（第2次）について 令和6年度事業計画について 令和6年度予算について 定款変更について

6. 理事会の開催状況

	日程	議案内容
1	R5.6.5	令和4年度事業報告について 令和4年度決算報告について 役員を選定について 足利愛光園洗濯設備の整備について 令和5年度定時評議員会の開催について
2	R5.6.21	理事長の選定について
3	R5.9.29	足利愛光園ボイラ設備等の整備について 借入の実施について
4	R5.11.20	稲岡町内の土地取得について 稲岡工場の修繕工事について 陽光園入所棟の建具修繕工事について 土地の合筆について 補正予算について
5	R5.12.21	令和5年度補正予算（第1次）について 評議員選任・解任委員会運営細則の改正について 事業の廃止について 借入について
6	R6.3.8 (決議の省略)	令和5年度臨時評議員会の開催について
7	R6.3.28	令和5年度補正予算（第2次）について 令和6年度事業計画について 令和6年度予算について 定款の変更について 給与規程の改定について 資金の運用の実施について

7. 外部研修等実施状況

		研修名（内容等）	主催者等	所属	参加者
1	5.4.25	栃木県社会就労センター協議会 正副委員長会議	栃木県社会就労センター協議 会	愛光園	川俣 聡司
2	5.5.12	栃木県社会就労センター協議会 令和5年度定期総会	栃木県社会就労センター協議 会	三桝屋総本店	羽深 智敬
				愛光園	廣瀬 蒼生
				足利愛光園	荒木 理恵
3	5.5.29	市長審査会委員研修及び障害支援区分 認定調査員研修	栃木県障害者総合相談所	彩光園	石井 聡
				彩光園	福井 規雄
4	5.5.12～ 13	栃木県社会就労センター研修会	栃木県社会就労センター協議 会	愛光園	川俣 聡司
5	5.5.19～ 20	全国セルフ 教議員総会	全国社会就労センター協議会	愛光園	川俣 聡司
6	5.5.25	安全運転管理者等講習	公益社団法人群馬県 安全運転管理協会	ラクーン	関 晋二
7	5.6.8	栃木県社会就労センター協議会 正副委員長会議	栃木県社会就労センター協議 会	愛光園	川俣 聡司
8	5.6.11	第26回福祉レクリエーションセミナー	足利市レクリエーション協会	フルーエ	内田 千陽
				フルーエ	石塚 教稔
9	5.6.14	栃木県セルフ 研修委員会	栃木県社会就労センター協議 会	愛光園	川俣 聡司
10	5.6.14～ 15	栃木県社会福祉法人青年経営者会全体会	栃木県社会福祉法人青年経営 者会	愛光園	川俣 聡司
11	5.6.22	令和5年度ひきこもりサポーター	栃木県子ども若者・ひきこも り総合相談センター	彩光園	川俣 弘美
12	5.6.22	第50回福祉パレード「知的障害者福祉 月間記念行事」 代表者会議	福祉パレード実行委員会	三桝屋総本店	藤田 勝美
13	5.7.3	安全運転管理者等法定講習	一般社団法人栃木県安全運転 管理者協議会	一歩	松崎 友紀
				ホームひだまり	大越 雅明
14	5.7.11	安全運転管理者等法定講習	栃木県安全運転管理者協議会	ホームかがやき	高橋 啓介
15	5.7.11	とちぎセルフセンター合同部会	とちぎセルフセンター	愛光園	川俣 聡司
16	5.7.13	令和5年度精神保健福祉初任者研修	群馬県こころの健康センター	ひかり	本間 晴香

17	5.7.25	アートサポーター養成セミナー 3回連続講座(WEB)	群馬県障害者芸術文化活動支援センター	彩光園	福井 規雄
				カレンフィールド	絹川 一恵
18	5.8.17	令和5年度口腔ケア研修	栃木県社会福祉協議会	彩光園	武石 久美
				ホームかがやき	東條 勝
19	5.8.23-25	セルフ協27期リーダー養成ゼミナール	全国社会福祉協議会/全国就労センター協議会	彩光園	渡辺 幸恵
20	5.8.23/24	令和5年度栃木県医療的ケア児等支援者養成研修	栃木県	基幹相談支援センター	小野 広久
21	5.9.12-14	令和5年度栃木県相談支援従事者 現任研修	栃木県	基幹相談支援センター	小野 広久
				共生	室岡 三慈
22	5.9.20	クリーニング師研修	公益社団法人栃木県生活衛生 営業指導センター	彩光園	家住 涼介
				彩光園	篠原 孝
23	5.9.27	アートサポーター養成セミナー 3回連続講座	群馬県障害者芸術文化活動支援センター	彩光園	福井 規雄
				カレンフィールド	絹川 一恵
24	5.10.3	安全運転管理者講習	公益社団法人群馬県安全運転管理協会	カレンフィールド	伴 和也
25	5.9.14~16	全国社会就労センター協議会総合研究大会	全国社会就労センター協議会	愛光園	川俣 聡司
26	5.11.16~17	足利市社会福祉施設代表者協議会 視察研修	足利市社会福祉施設代表者協議会	足利愛光園	堀越 信行
				愛光園	川俣 聡司
				一歩	野本 嘉之
27	5.12.11	令和5年度栃木県災害福祉支援チーム員 スキルアップ研修	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会	基幹相談支援センター	小野 広久
28	5.5.20	令和5年度足利市成年後見サポートセンター 任意後見制度研修会	社会福祉法人足利市社会福祉協議会	基幹相談支援センター	小野 広久
29	5.9.27	アートサポーター養成セミナー	群馬県障害者芸術文化活動支援センター	カレンフィールド	絹川 一恵
30	5.12.5	栃木県社会就労センター協議会 研修会 『その印象、大丈夫ですか？4分2秒の コミュニケーション』	栃木県社会就労センター協議会	共働舎	黒須 翔太
				カレンホーム	森山 僚
				陽光園	屋宜 沙織

31	5.12.13-15	令和5年度日本セルフセンター クリーニング部会研修会	日本セルフセンター クリーニング部会	愛光園	川俣 聡司
				共働舎	天貝 奈萌
				彩光園	篠原 孝
				足利愛光園	浅沼 駿介
				足利愛光園	永倉 徹
32	5.12.16-17	就労支援フォーラム NIPPON2023	日本財団	彩光園	家住 涼介
				足利愛光園	齋藤 良美
				三桝屋總本店	羽深 智敬
33	5.11.21	アートサポーター養成セミナー	群馬県障害者芸術文化活動支 援センター	彩光園	福井 規雄
34	6.1.17	とことん稼いできれいに使う施設長講座	全国社会就労センター協議会 日本セルフ士会	三桝屋總本店	羽深 智敬
35	5.12.5	栃木県セルフ研修会	栃木県社会就労センター協議 会	愛光園	川俣 聡司
36	5.12.13-15	日本セルフセンター クリーニング部会	日本セルフセンター	愛光園	川俣 聡司
37	6.1.10	セルフ協第27期リーダー養成ゼミナ ール	全国社会福祉協議会/全国就 労センター協議会	彩光園	渡辺 幸恵
38	6.1.23	令和5年度事業所安全運転管理者法定講 習		三桝屋總本店	羽深 智敬
39	6.1.23	令和5年度第5回人材育成事業研修会 「GOOD JOBの作り方」	群馬県障害者芸術文化活動支 援センター	彩光園	福井 規雄
40	6.1.24-26	日本セルフ士会視察研修	日本セルフ士会	愛光園	川俣 聡司
41	6.2.7	時流予測セミナー	(株)和奏建設	愛光園	川俣 恵一
42	6.3.1	令和5年度第2回定期総会及び報酬改定 に関する行政説明等研修会	栃木県社会就労センター協議 会	彩光園	渡辺 幸恵
43	6.3.23	令和5年度群馬県精神障害者地域移行・ 地域定着支援関係者研修	(有)プログレ総合研究所	ひかり	本間 晴香
44	5.11.27	ぐんま強度行動障害総合支援事業事例発 表会	群馬県 障害政策課	三桝屋總本店	藤田 勝美
45	6.2.21-22	令和5年度全国社会就労センター長研修 会	全国社会就労センター協議会	愛光園	川俣 聡司
				彩光園	渡辺 幸恵
46	6.3.19-20	第27期リーダー養成ゼミナール修了式	全国社会就労センター協議会	彩光園	渡辺 幸恵

47	6.3.11	令和5年度リーダー養成ゼミナール修了生フォローアップ研修会	全国社会就労センター協議会 日本セルフ士会	三桝屋總本店	羽深 智敬
				彩光園	渡辺 幸恵
48	6.3.1	令和6年度サービス管理責任者更新研修 伝達研修会	栃木県障害施設・事業協会	三桝屋總本店	藤田 勝美
49	6.3.1	令和5年度第2回定期総会及び報酬改定 に関する行政説明等研修会	栃木県社会就労センター協 議 会	愛光園	川俣 惠一
				愛光園	川俣 聡司
				一歩	野本 嘉之
				陽光園	佐々木 健 一
				彩光園	渡辺 幸恵
合計				75名	

8. 事業別職員数（令和6年3月31日）

		男			女			合計			平均年齢	平均在籍期間		
		常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計				
山川	愛光園	生活介護	1	1	2	2	1	3	3	2	5	49.2	9.73	
		B	6	1	7	1	1	2	7	2	9	52.9	10.09	
	あすか	1	1	2	5	6	11	6	7	13	59.7	11.52		
	その他	0	0	0	2	1	3	2	1	3	56.8	15.17		
	小計	8	3	11	10	9	19	18	12	30				
あづま	彩光園	生活介護	1	0	1	5	3	8	6	3	9	49.5	12.24	
		彩	3	8	11	4	3	7	7	11	18	58.8	5.85	
		B	4	1	5	1	1	2	5	2	7	55.5	4.11	
	かがやき	3	2	5	6	4	10	9	6	15	62.2	5.06		
	なないろ	0	2	2	3	7	10	3	9	12	58.8	5.01		
	その他	0	1	1	0	0	0	0	1	1	68.2	21.94		
	小計	11	14	25	19	18	37	30	32	62				
松原	セレッソ館	2	2	4	3	5	8	5	7	12	66.5	5.51		
	ラクーン	4	4	8	3	7	10	7	11	18	53.7	4.91		
	小計	6	6	12	6	12	18	12	18	30				
六郷	カレンフィールド	6	4	10	8	14	22	14	18	32	44.6	3.84		
	カレンホーム	3	1	4	4	4	8	7	5	12	54.8	3.11		
	ひかり	0	0	0	1	0	1	1	0	1	32.8	6.90		
	みやび	1	1	2	0	4	4	1	5	6	65.9	3.21		
	生活介護三柵	1	0	1	1	4	5	2	4	6	43.1	1.79		
	三柵屋	5	5	10	4	2	6	9	7	16	46.7	3.48		
	小計	16	11	27	18	28	46	34	39	73				
アイタウン	ほのか	1	0	1	5	8	13	6	8	14	62.5	7.36		
	ひだまり	3	1	4	5	10	15	8	11	19	65.2	7.93		
小計		4	1	5	10	18	28	14	19	33				
稲岡	工場	愛光園	9	0	9	2	6	8	11	6	17	51.1	9.45	
		共働舎	3	3	6	5	8	13	8	11	19	52.0	5.50	
		その他	1	0	1	0	0	0	1	0	1	53.8	20.51	
		小計	13	3	16	7	14	21	20	17	37			
	介護	陽光園	生活介護	12	4	16	13	4	17	25	8	33	45.7	5.95
			入所	0	2	2	2	0	2	2	2	4	62.0	9.56
		サンリット	1	0	1	0	1	1	1	1	2	49.0	8.32	
小計		13	6	19	15	5	20	28	11	39				
大久保	一歩	2	2	4	2	6	8	4	8	12	54.4	6.34		
小計		2	2	4	2	6	8	4	8	12				
猿田	フルーエ	3	5	8	6	5	11	9	10	19	53.8	4.41		
	共生	1	0	1	2	0	2	3	0	3	46.5	16.92		
小計		4	5	9	8	5	13	12	10	22				
地域	相談支援	2	0	2	0	0	0	2	0	2	51.0	25.38		
小計		2	0	2	0	0	0	2	0	2				
合計		79	51	130	95	115	210	174	166	340	54.2	8.70		

9. 補助事業の活用状況

令和5年度補助事業の活用状況

補助団体	事業所（施設）	事業名または内容	事業予算・補助額	完了日
一般社団法人 環境共創イニ シアチブ	足利愛光園	令和4年度補正予算 省エネルギー投資促進支 援事業費補助金 (ボイラ、エアコン)	総額： 31,460,000 円 補助： 7,066,666 円	令和5年12月
社会福祉法人 栃木県共同 募金会	愛光園	令和5年度共同募金配分 (ハイエース)	総額： 4,250,000 円 補助： 1,500,000 円	令和6年7月 (納車予定)

その他 コロナ関連補助金

栃木県 3,684,000 円

群馬県 107,000 円

物価高騰対策関連補助金

栃木県 4,479,000 円

群馬県 1,403,000 円